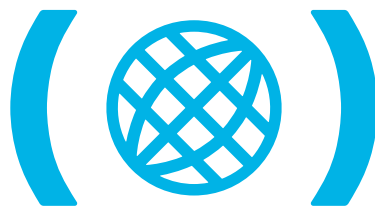


Around Me! Around You!



グローバル人材育成推進事業

What is Global?

Here. Around Me!

グローバル人材が切り拓く地域社会の未来

グローバル人材育成推進事業

山口県立大学国際文化学部では、
文部科学省「グローバル人材育成推進事業タイプB(特色型)」を通して、
世界の地域と日本の地域をつなげて歴史・文化・自然・人間の価値や可能性に着目し、
地域課題解決に取り組む「インターローカル人材」を育成する取り組みを始めています。



グローバルの扉を開けよう!

未来のグローバル人になるための
学びに招待するブックレットです



世界と共に学ぶ

グローバル社会に対応する語学学習と
海外留学プログラムについてご説明します



**アクティブラーニング
(スタジオ・ラボ)**

専用教室での新しい学びの
スタイルをご紹介します



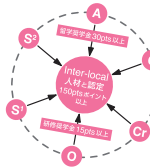
グローバルに活躍する卒業生

本学を卒業し、グローバルな舞台で
活躍する先輩からのメッセージです



地域と共に学ぶ

地域マインドを育てる学びの仕組み
「域学共創」についてご説明します



事業の特色

本学のグローバル人材育成推進事業の
狙いや特色について、解説します

グローバルの扉を開けよう!

山口県立大学 国際文化学部で 未来のグローバル人 になろう!



今、グローバル人材が
求められています

山口県立大学は、グローバル人材育成を先導する大学として、海外研修や海外留学を推進しています。入学から卒業まで一貫した人材育成教育プログラムを展開することで、世界と日本の地域の架け橋になる人材を育成します。

世界で通用する 人間力を 身につけよう!



言語能力+
異文化コミュニケーション能力

国際文化学科では、卒業までに高い外国語運用能力や異文化コミュニケーション能力を伸ばし、海外留学や実習を通して世界を知り、地域課題解決に向かう行動力を身につけます。文化創造学科では、国際的な視野から日本の文化や地域資源、ライフスタイルを見つめ直し、新たな文化を生み出し発信する力を身につけます。

リアルな 現場感覚を 伸ばそう!



発想力UP!
企画提案力UP!

「域学共創学習プログラム」では、毎回、地域やグローバルな課題について取り上げ、具体的な課題の提示→情報収集→グループ学習→解決策の提案→プレゼンテーション→ミニレポートの作成というサイクルを持った授業を展開します。

就職や将来へ つながる ネットワークを つくろう!



ネットワークづくりは
自分の未来づくり!

「域学連携コンソーシアム・フォーラム」では、学生の自主的な学びを支援する産学公の連携を構築します。山口県内をはじめ全国の企業や行政、NPO/NGO、海外の大学が集まって学びの場をつくり、留学前の地域課題の提供、留学後の地域課題の解決に取り組めます。

日本を知り 世界に近づこう!



クロスボーダー力を
身に着ける

国、文化、世代などの様々なボーダーを越える事ができる能力を伸ばすためにはどの科目を履修し、どういった活動をすれば良いか、学生自身が目標を立てて、自分の成長を測り、次の目標が立てられるようになっていきます。

学び、体験して、 ポイントを 貯めよう!



ポイントを貯めると
良いことがいっぱい!

IPD (Initial Professional Development) ポイント制度により、海外研修や実習、留学を希望する学生に対し、奨学金を活用して経済的支援を行います。一定のポイントを貯めることで、留学の選考で有利になったり、奨学金をうけたりすることができます。

グローバルに活躍する卒業生

行動を起こすことで、新しい世界が開ける。

生活科学部 環境デザイン学科 2003年卒業
MAIOHTA DESIGN代表
フィンランドのファッションデザイナー
M.O.さん



現在、フィンランド在住10年目で、幼い頃からの夢であったファッションデザイナーとしてお仕事をしています。私の今までの経験から皆さんにお伝えしたい事は、『やればできる』です。まずは何が行動を起こすことで、新しい世界が開けてきます。自分の可能性を信じて、今までとこれからの出会いを大切に、色々な事に挑戦してください。

今までの全ての経験が今の自分の糧。

国際文化学部 国際文化学科 2004年卒業
カナダの大学
英語教員・異文化トレーナー
Y.A.さん



山口県立大学在学中はアメリカのセンター大学に交換留学で行ったり、ニュージーランドの高校で日本語教育実習をしたりしました。卒業後は広島で英語講師、アメリカの大学で日本語アシスタントとして勤めた後カナダの大学院留学に留学して言語学を学び、カナダの大学で日本語を教えました。今までの全ての経験が今の自分の糧となっていますが、全ての始まりは山口県立大学です。

大学4年間の出会い、気づきが人生を変える

国際文化学部 国際文化学科 2010年卒業
海外の大手航空会社 客室乗務員
Y.M.さん



大学2年のときに、学生支援部主催のビジネススクールの先生による講義を受けて、「キャビンアテンダントになりたい」と夢を決めました。現在、夢がかなってシンガポール在住で、国際線のビジネスクラスに搭乗しています。大学4年間でのお出会い、気づきが人生を変えることがあります。沢山の学びのチャンスを、ぜひ未来へとつなげてください。

感じたこと、経験したこと、出逢った人々は、一生の財産。

国際文化学部 国際文化学科 2009年卒業
公益財団法人山口県国際交流協会
S.T.さん



在学中、スペインナバラ州立大学に10ヶ月交換留学をし、卒業後は再びスペインの大学でスペイン語を勉強しました。現在は山口県国際交流協会で、国際交流と多文化共生のお手伝いをしています。世界に繋がる扉は、私たちのすぐ近くにあるのだと思います。たくさんの人との出逢いを楽しみながら、好奇心とチャレンジ精神を持って、皆さんも“広くて、狭い世界”に飛び出して行ってください!

何でもチャレンジし、たくさんの経験を得る。

国際文化学部 国際文化学科 2009年卒業
山口県内の公立高等学校 英語教員
M.K.さん



現在、山口県内の公立高等学校の英語教員として、多忙ながら充実した毎日を送っています。在学中に得る経験は貴重です。どんな経験でも、困難に打ち勝ち前進するための力となります。ぜひ興味湧いたら何でもチャレンジし、たくさんの経験を得てください。

世界に繋がる扉は、私たちのすぐ近くにある。

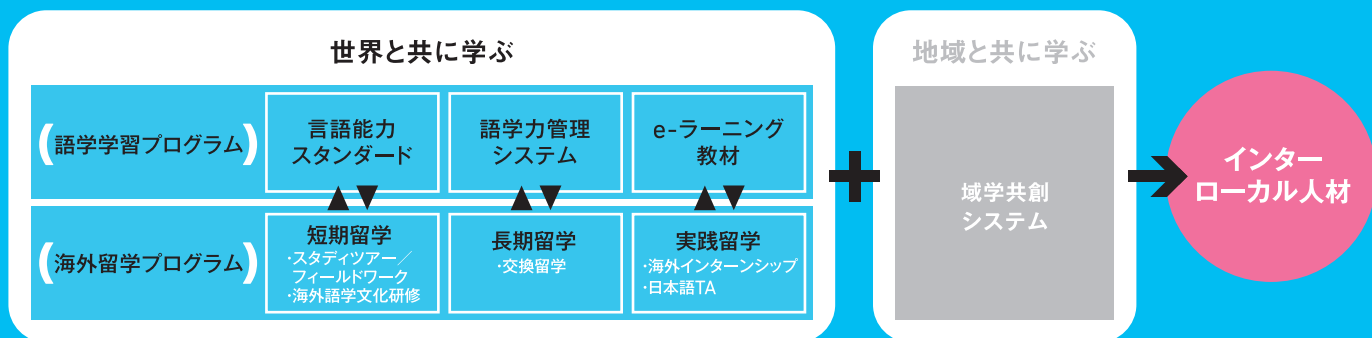
国際文化学部 国際文化学科 2009年卒業
海上自衛隊(海上自衛官)
S.I.さん



本学卒業後、広島県にある海上自衛隊幹部候補生学校で1年間、海上自衛隊の基礎を学びました。候補生学校を卒業後、約3ヶ月間の遠洋航海実習を行いました。国際文化学科で、語学力に加え、日本文化について学んだおかげで「日本を知る国際人」として、交流した方々から大変喜ばれ、今でもよく連絡を取り合っています。

世界と共に学ぶ

グローバル社会で活躍するには、一定の言語能力を有することが必要です。また、海外とのコミュニケーションには、日本にはない異文化を理解することも欠かせません。グローバル人材育成推進事業では、効果的な語学学習プログラムと海外留学プログラムによる実地体験を融合して、世界で通用するコミュニケーション力を身につけていきます。



語学学習プログラム

段階的な授業カリキュラム

英語・中国語・韓国語・スペイン語から一つの言語を選択し、1年生では基礎力を、2年生からは実践力を身につけます。英語・中国語・韓国語それぞれに、様々な言語能力レベルや重点とするスキル(話す、聞く、読む、書く)に応じた授業が用意されており、入学から卒業まで続けて受講することにより、段階的に力を付けることができます。

【例】中国語カリキュラムマップ

開講時期 (目安)	授業科目	4つのスキル				言語レベル	
		話す	聞く	読む	書く	中国語検定	
1年	中国語I					◎基礎全般	入門
	中国語II					◎基礎全般	準4級
2年	実践中国語I	◎					初級 4級
	中国語リスニングI		◎				
	中国語購読I			◎			
	実践中国語II	◎					
	中国語リスニングII		◎				
	中国語購読II			◎			
3年	実践中国語Ⅲ・Ⅳ	◎					中級 2級
	中国語リスニングⅢ・Ⅳ		◎				
	中国語購読Ⅲ・Ⅳ			◎			
	作文I・II				◎		

◎: 授業で主として重点をおくスキル

海外留学プログラム

海外での研修や留学の体験をとおして、グローバルな見識を広めるとともに、最終的には、自ら積極的に地域の課題を発見し、その解決法を国際的視野から具体的な形で見出せる力を習得していきます。派遣先は海外6カ国7校の学術交流協定校から選ぶことができるほか、滞在期間や目的に応じて各種の留学プログラムが用意されています。



海外留学の形態

交換留学 (長期留学)	海外語学文化研修 (短期留学)	海外スタディツアー／フィールドワーク (短期留学)
----------------	--------------------	------------------------------

卒業時の言語能力スタンダード

所属する学科や系・コースにより卒業時の到達目標を設定しています。2年生から系・コースを選択し、履修モデルに沿って専門性を伸ばしながら、設定された語学能力スタンダードを指標に学習を進めます。どの系・コースを選択しても、留学を希望する場合には高いレベルを目指していきます。

国際文化学科

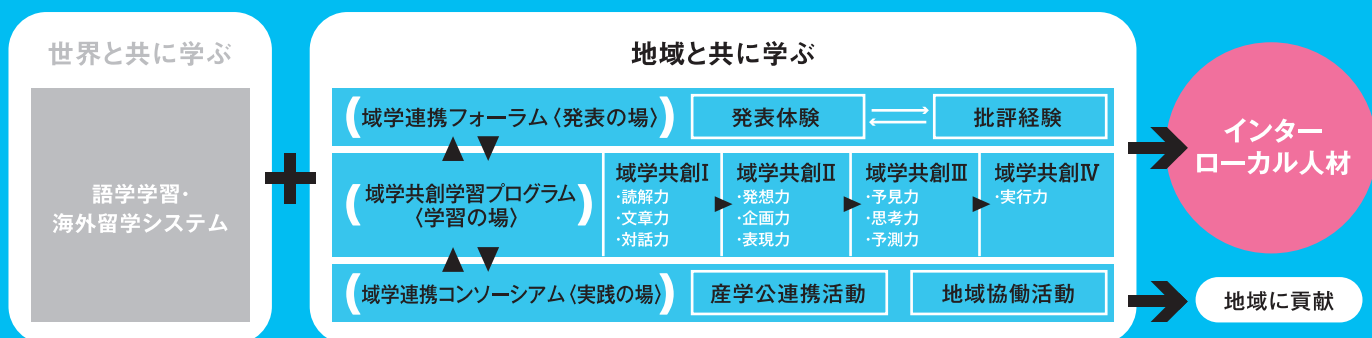
《言語コミュニケーション系》TOEIC700点以上、または、中国語検定試験2級、ハングル能力検定試験準2級、スペイン語技能検定試験3級以上
《国際文化系》TOEIC600点以上、または、中国語検定試験3級、ハングル能力検定試験3級、スペイン語技能検定試験3級以上

文化創造学科

《日本文化系・企画プロデュース系》
TOEIC550点以上、または、スペイン語技能検定試験3級以上

地域と共に学ぶ

インターローカル人材として、地域（ローカル）の課題を理解し、解決策を提案する力を培い、地域の一員になる気持ち（地域マインド）を育み、地域の力を活用して学習を進めます。また、グローバルな視点を持ち、地域と共に行う実践活動を通して、実際に地域貢献を行っていきます。



域学共創学習プログラム 〈学習の場〉

域学共創Ⅰ

入学者が学習、生活、対人関係の点で円滑に大学に定着でき、今後の大学生活が充実したものとなるよう、様々な課題についてオリエンテーションをとおして、学び、考え、自分の学びのサイクルを作ります。

域学共創Ⅱ

「フィールドワーク実践論」では、地域社会の実践現場に赴き、実践的学習を通して地域の課題について考える準備を行います。地域の人々やその現場の理解の仕方、課題発見や問題解決につながる観察力や思考力の磨き方、他者とのコミュニケーション力、報告のあり方等について、フィールドワークの手法に倣いながら、専門的な基礎力を養います。「文化創造ワークショップ」では、芸術や生活文化など個々の分野における現状を把握し、そこで行われている実践内容や方法について理解することから、自らの課題発見の動機付けを行います。特に、文学や舞台芸術、またデザイン行為を通じて実践されている「もの」や「こと」についての理解を深め、現代社会において今後、求められる方向性をグループワークで提起していきます。

域学共創Ⅲ

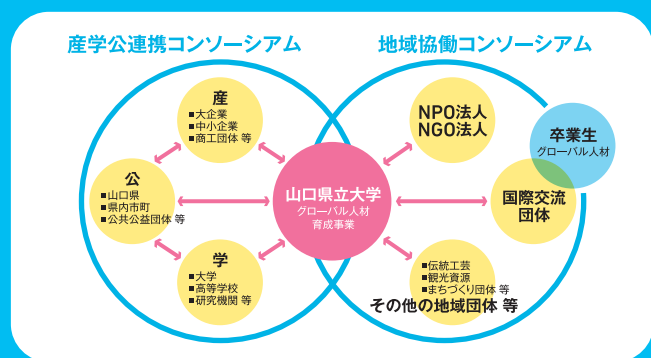
アクティブ・ラーニング・スタジオ(Y-ACT)で行われる授業は、(1)講師からのテーマ提示→(2)グループワークによる演習→(3)プレゼンテーション講評を1タームとして進めていきます。5回のタームをとおして、「地域課題」を理解し、「留学で学ぶこと」や「帰国後、地域に貢献すること」を考え、最終的には学外に向けて発表します。

域学共創Ⅳ

留学前に設定した研究テーマを留学中の学習・体験により深めていき、さらに帰国後は企業や地域の方々に参加するコンソーシアムやフォーラムの場を活用して実践・発表します。域学共創学習の集大成として、学習成果を地域社会へ還元しながら、自身のキャリアに結びつけていきます。

域学連携コンソーシアム 〈実践の場〉

山口県内をはじめ全国の企業や行政、NPO/NGO、海外学術交流協定校、地域のキーパーソン等が集まって構築したネットワーク(域学連携コンソーシアム)を活用し、学生が地域課題の解決方法について提案・実践するインターンシップ体験を行います。この体験をとおして、域学共創学習プログラムでの学びをさらに深めるとともに、実際に地域貢献を行うことで、地域の一員になる気持ち(地域マインド)を育みます。



域学連携コンソーシアムのスキーム

域学連携フォーラム 〈発表の場〉

域学連携コンソーシアムのメンバーを交えて、年数回フォーラムを開催します。このフォーラムは、域学共創学習プログラムでの学びやコンソーシアム活動の成果を発表し、討議する場です。学生はこの発表体験により、自らが習得した学びを整理し、第三者に伝える力を身につけます。さらに、コンソーシアムメンバーからの意見・指導を受けることで、自身の学びを深め、視野を広げることができます。フォーラムでは、上記の発表・討議のほかにも、講演会やシンポジウムなど様々な内容のイベントを開催していきます。

アクティブ ラーニング

(スタジオ・ラボ)

事業の特色

（アクティブ・ラーニング・スタジオ (Y-ACT)

グループ学習に適した教室で、グループでのレポート作成、プレゼン練習、フィールドワークの準備ミーティング、さらには外国書講読会など自主ゼミの場として、学生自らが使い方をアレンジできます。



（アクティブラーニング・ランゲージラボ (LaLabo)

この教室には、30台の学生用コンピュータを有するCALLシステム(言語学習システム)を整備しています。英語・中国語・韓国語の授業に活用できるほか、自主学习教室としても開放しており、学生の自立的な学習をサポートします。



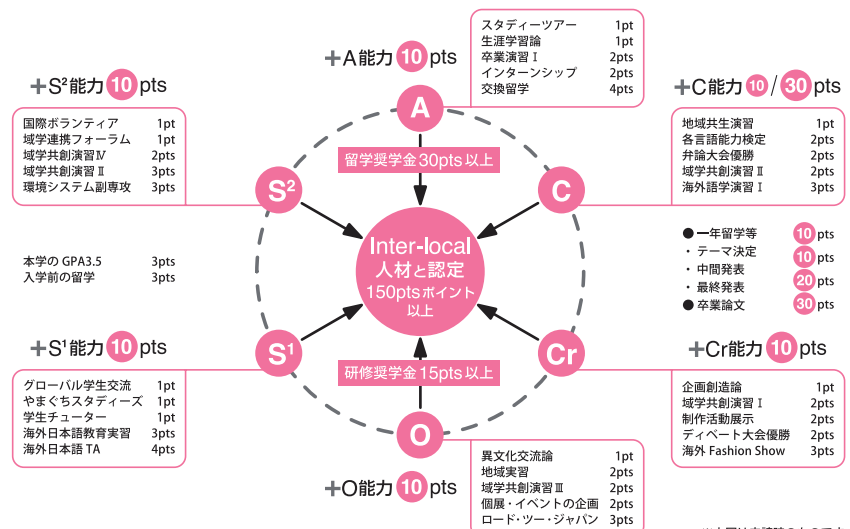
「元気な地域は元気な国の基となり、地域のグローバル化は元気な地域を作るカギとなる」という考えに基づき、国際文化学部8割の学生を在学中に海外に派遣し、世界と日本の地域をつなげて課題解決を行うとともに、地域の歴史的、文化的、自然的、人間的な資源の価値や可能性に着目し、地域を世界に「売り込める」力を有するインターローカル人材を育成します。

（教育プログラム5つの魅力）

- 1 言語能力+異文化コミュニケーション能力を身につける
- 2 域学共創学習プログラムでリアルな現場感覚を伸ばす
- 3 域学共創コンソーシアムで就職や将来につながるネットワークを構築する
- 4 ACCrOSS能力で日本を知り世界へ近づくクロスボーダー力を育成する
- 5 IPDポイント制度でインターローカル人材を認定する

ACCrOSS

インターローカル人材に必要な6つの能力を「ACCrOSS」能力としています。「ACCrOSS」は、国、文化、世代などの様々なボーダーを越えることができる力です。これらの能力を伸ばすためにはどの科目を履修、どういった活動をすれば良いか、eポートフォリオを使って学生自身が目標を立てて、自分の成長を測り、次の目標が立てられるようになっていきます。





<http://www.YPU.jp/>